

芸術、文化や生涯学習、スポーツなどの分野で、活動を行う機会の提供や場づくりを行います。
また、福祉や環境など、あらゆる分野で、市民・企業・行政のパートナーシップによる施策を進めていきます。

市民文化の創造とスポーツの振興/市民・企業・行政のパートナーシップの推進

NEWS
ニュース



こんは 事業も

厚別温水プール移転改築

施設の老朽化のため、厚別区厚別中央2条6丁目に移転改築します。完成は平成16年8月末の予定です。

青少年科学館展示物整備

宇宙天文知識を紹介する展示物の多様化を図るため、宇宙天文分野の総合的な整備を行います。また、移動天文車も更新し、コンピューター制御による自動化を図るとともに、曇天時のためのビデオ放映機器などを搭載します。

ジュニア・ウィークエンドセミナー

13分の旬情報をご覧ください。

文化活動練習会場開放事業

合唱、器楽、演劇などのアマチュア団体の練習の場として小学校の音楽室などを開放しています。今年度からは、大谷地小学校（白石区本通18丁目南）と、真駒内小学校（南区真駒内上町4丁目）の2校を増やし、合わせて9校で利用が可能です。

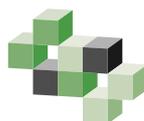
市民情報センターがオープン

札幌に関するさまざまな情報を集約・編集し、提供するとともに、市民の情報活用能力の向上を支援する拠点施設が、10月、白石区東札幌にオープンします。

1階の「情報プラザ」では、インターネットを利用できるパソコンを配置するほか、パソコンの活用を学ぶワークショップなどを開催します。

六月一日(土)、三日(月)、七日(金)に札幌ドームでも試合が行われるFIFAワールドカップ™の成功に向けて、万全の体制を整えます。
国内外から訪れる方々を温かく迎えるため、市内数カ所に案内所を設け、ボランティアなどが出場国の言語で対応その中心となる大通公園の総

の色彩で四分割し、それぞれに経路を指定することで、会場周辺などでの円滑な誘導を促します。また、いわゆるフリーガン(暴徒化したファン)対策としては、商店街などと協力しながら、放置自転車や無届け看板の撤去などを行うほか、警察などと連携して万全の警備を行います。



いよいよ秒読み! FIFAワールドカップ™を 最高のおもてなしで



1月に行ったワールドカップボランティアの出場国言語研修。本番に向けボランティアの準備も大詰め

合情報センターには、日本や札幌の文化を紹介するコーナーを設けます。このほか、滞在中に役立つ情報をまとめたパンフレットも各国の言語で作成します。予想される観客数は三試合で約二十万人。観客席をチケット



市民・企業・行政が 手を携えてまちづくりを進める 体制を整えていきます

地方分権時代にふさわしいまちづくりに向け、パートナーシップによる施策を進めます。

地方分権時代の下、市民・企業・行政がそれぞれの役割を担いながら札幌のまちを運営する「協働型社会」の実現に向けた人づくりや仕組みづくりを推進。今年度もシンポジウムを開催するなど、市民の皆さんとともに「協働型社会」について考える場を提供していきます。

また、「協働」を推進するため、市の政策づくりに関する情報を分かりやすいかたちで整理し提供するデータベースなども活用しながら、市民や企業の

皆さんと情報の共有を進めていきます。

個々の施策でも、市民の皆さんの主体的な取り組みへの支援を充実させます。昨年、本市の博物館づくりについて議論するため、市民の皆さんや自然教育関係者をメンバーとして発足した「ミュージアムサロン」では、市民意向の調査や広報活動など具体的な取り組みが本格化。また、NPO(非営利の民間団体)などの市民活動を促進するため、「自立した活動」をテーマに、多彩な情報を盛り込んだハンドブックを作成するほか、パネル展などの交流イベントを開催します。